

社会実装に向けた共創促進及びPR業務 審査基準

1. 審査方法

- (1) 各委員は、企画提案書（見積書を含む）の内容について、下記の基準に基づき事業者ごとに採点を行う。
- (2) 評価点にウェイトを乗じたものを項目点とする。項目点の合計を得点とし、得点の満点は100点である。
- (3) 各委員の得点を合計し、その合計得点が最も高い1者を最優秀提案者として選定する。
  - ・ただし、全委員の得点の平均が60点未満である場合は、最優秀提案者として選定しない。
  - ・合計得点が同点の場合は、評価項目③の項目点の合計が最も高い事業者を上位とする。また、評価項目③の項目点の合計も同点の場合は、全委員の択一投票により決定する。

2. 評価基準

評価項目	配点	評価点	ウェイト	項目点	
提案内容					
① 業務理解・課題の把握 業務の目的・内容や地域の現状を十分に理解し、業務目的を達成するうえでの課題等を的確に把握しているか。また、課題と業務内容の関連付けが明確か。	10点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	2	点
② オープンイノベーションイベントの開催 共創イベントは、堺の地域性やイノベーション創出推進の方向性、地域への実装などを意識した内容となっているか。また、規模や回数、参加者の関わり方など、社会実装につながる共創事例の創出に向けて多くの事例を生み出すために効果的な提案となっているか。	20点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	4	点
③ 社会実装に向けたフォローアップ 生み出されたマッチング事例や共創の芽に対して、個別ケースに合うよう適切な体制・手法等による社会実装に向けた支援が提案されているか。	20点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	4	点
④ 周知、PR イベントに多様な主体を参加させるための集客や周知方法及び取組事例の発信などについて、効果的かつ魅力的な手法、および実現可能な具体的な提案がされているか。	20点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	4	点
⑤ 独自性及び工夫 仕様書に記載した業務の内容・方法以外に、独自の提案や工夫がみられるか。また、その提案及び工夫が、業務目的の達成において有効で魅力的かつ実現可能性を備えているか。	15点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	3	点
⑥ 業務実施体制及び業務スケジュール 業務を着実かつ効果的に遂行できる実施体制が整っているか。スケジュールが明確で、発注者と適切な連携のもと進行でき、かつ現実的であるか。	5点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5点 4点 3点 2点 1点	1	点

<p>⑦ 類似業務の実績</p> <p>本業務に類似する業務の実績を有しているか。また、過去業務においてイベント参加者数や共創事例の創出など十分な成果・実績を有しているか。</p>	10 点	非常に優れている 優れている 普通である やや劣っている 劣っている	5 点 4 点 3 点 2 点 1 点	2	点
<p>得点</p>	100 点				点